

1. 題材名 「ネットのマナー」

2. 題材設定の理由

○題材観

情報が氾濫する現代にあつて、信頼できる情報を適切に選択することは非常に困難である。また、情報通信ネットワークの急激な発展は、誰もが簡単に受信できるだけでなく、発信もできるという状況をもたらした。利便性と表裏を成す危険度について、正しく認識することは被害者にならないという消極的な学習の動機付けとなる。しかし、加害者にならないための学習はもはや不可欠で、自らそれを実践できる主体的な態度の育成は緊急な課題である。

○指導観

マナーとは相手に不快な思いをさせないことである。常に他者の存在を意識することで秩序ある社会を形成できることを伝えたい。そこで、1, 3年生については授業において、「ルールの遵守」「秩序・規律の重要性」「責任ある情報発信」など、段階的に年間をとおして繰り返し実践していく。

また、授業でパソコン室を使用することが少ない2年生にあつては、LHRをとおして、「トラブルの事例と回避の方法」を中心に、注意喚起を含めて取り上げていきたい。校内使用のパソコンだけではない様々な事例学習をとおして、生徒の日常生活で活用できる内容のものを準備することで、生徒自らが主体的に判断し、行動できる能力を身に付けるような授業を目指したい。

3. 目標

- 情報通信ネットワークによる情報の共有には、規則が必要であり、遵守が重要であることを理解する
- 情報通信ネットワークを利用する際のマナーや利点・欠点について理解させ、有効に活用しようとする
- 情報通信ネットワークを利用するだけでなく、責任ある情報発信ができるようになる

4. 指導計画

- (1) 校内LANにおける個人アカウントの役割
- (2) 秩序・規律の重要性と、トラブル回避の方法 (本時)
- (3) 情報機器を用いた情報発信

5. 本時の目標

- 情報通信ネットワークの利用者として、責任ある行動ができる
- トラブル回避の方法を知ること、身の回りで起きる可能性のある事態に対処する知識と技術を習得する

6. 指導上の留意点

- 導入において、結論(求められる行動様式)についても触れておくことで、授業内容を予測させる
- 生徒からの反応が乏しいときには意見が出しやすい工夫をする

7. 教材 生徒：資料プリント

8. 過程

	学習活動・内容	指導上の留意点	教材	配時	形態	評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を認識する ネットワークシステムの利用者として求められる行動様式について、自ら実践すべきである、ということを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> パソコン室における授業で、日常利用している「認証」システムについて、論理的に理解し、ネットワークシステムの利用者として求められる行動様式について、自ら実践すべきである、ということを確認させる 		5分	一斉	
展開①	<ul style="list-style-type: none"> 校内LANの認証システムには、個人アカウントが必要であることを再確認する 情報共有のルールと、違反した場合の罰則について説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 個人を特定する意味を考えさせ、なぜ特定しなければならないのかを認識させる 身近な事例を挙げ、個人が責任ある行動をとることによって、円滑なネットワーク環境を整備できることを知らせる 	資料プリント	20分	一斉	(2) (2)
展開②	<ul style="list-style-type: none"> 「顔が見えない」ことを軸に、トラブルの例を被害者・加害者の両側から検証する 情報通信が、現在は「双方向」であることを例示する 自衛手段を、携帯電話に絞って例示する 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の注目を惹くだけに終わらず、トラブルの共通要因に気付かせる 情報の共有には、利便性と同時に、危険性が伴うことを説明し、個人情報保護することが最大の自衛法と気づかせる 規則遵守とさらなるマナーアップが安全確保につながることを認識させ、今自分にできることを記入させる 		20分	一斉	(2) (3)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時で得たことを確認する 情報発信の際の留意点に気づかせる 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な携帯メールやサイトの利点・欠点と、今日からでも自分ひとりでも、自衛の方法があることを確認し、責任ある行動を促す 情報発信の機会が増えた現在、3年次の研究発表の紹介をして自覚を促す 		5分	一斉	(3)
評価	<p>(1) 情報通信ネットワークの仕組みについて関心を持ち、指示に従い、自主的・積極的に取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】</p> <p>(2) 情報通信ネットワークにおける秩序・規律の重要性について理解している。【知識・理解】</p> <p>(3) トラブルの解決に自ら思考を深め、習得した知識を活用して適切に判断し、責任ある行動をする能力を身に付けている。【思考・判断】</p>					